

(法第28条第1項関係様式例)

2021年度事業報告書

令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで

特定非営利活動法人トナリビト

1 事業の成果

社会的養護経験者や親を頼れない子ども・若者を対象に、『愛されるために生まれた』とすべての子ども・若者が思える未来」をビジョンに活動を行った。

1) 自立支援事業

シェアハウスでは、入居者一人一人に合った支援をおこなった結果、コロナ禍の影響を受けながらも就業・就学が継続し、金銭管理や家事も徐々にできるようになった。年度末には、保証人がいないという問題を連携先の保証会社を利用するなどして、2人の若者が一人暮らしへ移行することができた。昨年度より整備している短期シェルターでは、パーティションを増設し個室の環境を充実することができた。今年度はDV被害の若者や親と折り合いが悪く家出した若者に安心・安全な居場所を提供することができた。その後、警察や行政機関と連携し自立支援につなげることができた。シェアハウス、シェルターともに、警察や児童相談所などの行政機関や、スクールソーシャルワーカーからの問い合わせや相談が増えてきており、認知度が上がってきている。

居場所スペースでは、対象者を社会的養護の子ども・若者に限定せず、親を頼れない子ども、家庭に居場所がない子ども等に広げた結果、利用者や相談者が徐々に増えていった。コロナの蔓延防止等重点措置期間を鑑み、感染対策を徹底しながら開所時間を柔軟に変更し、子ども・若者が孤立することがないように事業を継続させた。本年度は子ども・若者に無料で食事提供を開始した。感染拡大防止期間は飲食は禁止としたが、孤食になりやすい若者や家で食事が食べられない若者たちからの需要は多い。

県内の児童養護施設を昨年3月に卒業した若者に、寄付いただいた家具家電の無料譲渡「おゆずり品」を提供した。また、一人暮らし応援として「おとなり便」と称し、食料や日用品を宅配便で届ける他、各々の誕生日にプレゼントとメッセージを贈る「Birthdayプロジェクト」を実施した。

昨年度に続き、児童養護施設出身や家庭の事情で、成人式に晴れ着を着ることができなかった若者を対象に着物での写真撮影会「KIMONOプロジェクト」を開催した。振袖の寄付やボランティアの申し出が多数あり、社会の反応も大きかった。

2) 学習支援事業

法人スタッフと大学生のボランティアに協力頂き、週1回のZOOMによるマンツーマンの学習支援を実施した。この関わりは学習面だけでなく、メンターの役割にもなっていた。また、今年度は施設訪問型の「性の相談室」を月1回開設することができた。

3) 就労支援事業

「職親ネット」の構築・充実を図った。また、就労が必要な若者と求人検索を共に行ったり、履歴書記入や面接の練習をおこなった。就労先でのトラブル発生時には同行や面談を実施した。実施回数は延べ 44 回であり、昨年度より大幅に増えている。

4) 普及啓発事業

日々の活動を SNS 等で発信する他、Annual Report や News Letter をサポーターに発送した。視察見学、外部での講義などで、社会的養護や親を頼れない子ども・若者の現状や支援について多方面の方々に話をする機会も多かった。その他、熊本大学法学部や、熊本県弁護士会より依頼を受け、子ども・若者の現状や支援について講義をおこなった。また、「熊日すぱいす」では代表がコラム欄を担当し連載が継続している。

5) 支援者育成事業

コロナの影響により、会議・勉強会は基本 ZOOM での開催となった。全国で社会的養護出身者の自立を支援している団体や、他県でシェアハウスを運営している団体有志による勉強会を 2 ヶ月に 1 回実施した。また、熊本県のスクールソーシャルワーカーの方々に向けて講演する機会もあり、子ども・若者の支援者が学びあい、エンパワーされるための発信ができた。その他、施設の職員を対象に「性教育」についての講義や、子どもの権利擁護に関する講義を、熊本県養護協議会施設長会議にて実施できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自立支援事業	① <u>自立支援シェアハウス IPPO</u> : 社会的養護出身者や親を頼れない 15-23 歳の若者を対象とした自立支援シェアハウスの運営管理	通年	IPPO	13 人	熊本県内 9 人	
	② <u>相談窓口・居場所スペースおとなりさん</u> 社会的養護出身者や親を頼れない 10-20 代の相談窓口・居場所スペースと緊急宿泊シェルターの運営	平日・第 4 土曜 12 時～18 時	おとなりさん	6 人	熊本県内の社会的養護出身者や親を頼れない若者 延べ 928 人 (うち相談件数 220 人)	

	③ <u>短期緊急シェルター</u> DV 等により、避難が必要な若者が安心・安全に生活できる場を提供し、自立につなげる支援	通年 緊急時	おとな りさん 2F	5 人	5 人 (144 日稼働)	
	④ <u>「おゆずり品」プロジェクト</u> 地域から集めた不要な家具・家電を社会的養護から巣立つ若者に無料でお譲りする支援	2021 年 1 月～3 月	おとな りさん	5 人	熊本県内の社会的養護卒業生 8 人 (計 39 個のお譲り)	
	⑤ <u>一人暮らし支援 BOX</u> <u>「おとなり便」プロジェクト</u> 児童養護施設から巣立ち一人暮らしを始める青少年への物資支援	2021 年 1 月～3 月	おとな りさん	5 人	熊本県内の社会的養護卒業生 25 人	
	⑥ <u>KIMONO プロジェクト</u> 上: 諸事情により成人式の晴れ着を諦めた若者に無償で晴れ着の写真撮影を実施	3 月 18 日 3 月 19 日	おとな りさん 水前寺 公園	27 人	6 人	
	⑦ <u>「Birthday プロジェクト」</u> 児童養護施設から巣立ち一人暮らしを始めた若者各人へ誕生日のお祝いメッセージを贈る	通年	おとな りさん	5 人	熊本県内の社会的養護卒業生 25 人	14,162
学習支援 事業	児童養護施設入所者を対象とした家庭教師ボランティア	週 2 回 延べ 201 回	各施設 とオン ライン	4 人	県内児童養護施設入所者 6 人	0
就労支援 事業	児童養護施設・里親から巣立つ者や社会への自立に際して社会的養護を必要とする青少年に対する、就労支援の実施	通年	おとな りさん	5 人	県内の社会的養護出身者や親を頼れない若者 延 44 人	12

児童養護・社会事業等に関する普及啓発事業	一般市民・地域コミュニティ・企業に対する広報活動（①視察・見学受入・他関係施設訪問、②講演活動・セミナー、③広報紙発行、④寄付キャンペーンなど）	①通年 ②通年 ③ニューズレター 年3回 ④年度末	シェアハウスまたは各施設、紙媒体・SNSなど	1人	関係団体・行政、サポーター、学生等 見学訪問回数 36回 講義等対象者 116人	120
支援者育成事業	児童養護施設・里親から巣立つ者や社会への自立に際して社会的養護を必要とする青少年を支援するボランティアへの教育実施、自主勉強会の開催など	通年	講演依頼先 オンライン等	3人	支援者、法人メンバー、施設職員等	0
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	なし					

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
物品販売事業	今期は実施なし				

活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
サポーター会員受取会費	3,386,808	3,386,808
2. 受取寄附金		
受取寄附金	1,193,129	
施設等受入評価益	1,980,000	
ボランティア受入評価益	978,012	4,151,141
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	7,505,000	7,505,000
4. 事業収益		
自立支援事業収益	2,714,218	
普及啓発事業収益	14,000	2,728,218
5. その他収益		
受取利息	60	60
経常収益計		17,771,227
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	1,337,517	
給料手当	2,273,779	
ボランティア評価費用	978,012	
法定福利費	930,574	
人件費計	5,519,882	
(2) その他経費		
業務委託費	11,400	
謝金	10,000	
印刷製本費	46,846	
会議費	4,310	
交際費	15,641	
旅費交通費	183,567	
通信運搬費	332,915	
消耗品費	2,227,237	
水道光熱費	993,140	
地代家賃	2,662,000	
施設等評価費用	1,980,000	
保険料	19,110	
諸会費	26,000	
租税公課	86,964	
研修費	122,250	
支払手数料	16,610	
雑費	38,736	
その他経費計	8,776,726	
事業費計		14,296,608
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
業務委託費	10,000	
印刷製本費	890	
会議費	1,104	
通信運搬費	28,307	
消耗品費	116,923	
租税公課	4,350	
支払手数料	330	
雑費	27,636	
その他経費計	189,540	
管理費計		189,540
経常費用計		14,486,148
当期正味財産増減額		3,285,079
前期繰越正味財産額		3,892,922
次期繰越正味財産額		7,178,001

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (2) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	自立支援事業	就労支援事業	普及啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	3,386,808	3,386,808
2. 受取寄附金	2,958,012	0	0	2,958,012	1,193,129	4,151,141
3. 受取助成金等	7,505,000	0	0	7,505,000	0	7,505,000
4. 事業収益	2,714,218	0	14,000	2,728,218	0	2,728,218
5. その他収益	0	0	0	0	60	60
経常収益計	13,177,230	0	14,000	13,191,230	4,579,997	17,771,227
II 経常費用						
(1) 人件費						
役員報酬	1,337,517	0	0	1,337,517	0	1,337,517
給料手当	2,273,779	0	0	2,273,779	0	2,273,779
ボランティア評価費用	978,012	0	0	978,012	0	978,012
法定福利費	930,574	0	0	930,574	0	930,574
人件費計	5,519,882	0	0	5,519,882	0	5,519,882
(2) その他経費						
業務委託費	11,400	0	0	11,400	10,000	21,400
謝金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
印刷製本費	4,700	0	42,146	46,846	890	47,736
会議費	4,310	0	0	4,310	1,104	5,414
交際費	15,641	0	0	15,641	0	15,641
旅費交通費	183,167	200	200	183,567	0	183,567
通信運搬費	305,223	0	27,692	332,915	28,307	361,222
消耗品費	2,181,183	1,670	44,384	2,227,237	116,923	2,344,160
水道光熱費	993,140	0	0	993,140	0	993,140
地代家賃	2,662,000	0	0	2,662,000	0	2,662,000
施設等評価費用	1,980,000	0	0	1,980,000	0	1,980,000
保険料	19,110	0	0	19,110	0	19,110
諸会費	21,000	0	5,000	26,000	0	26,000
租税公課	86,964	0	0	86,964	4,350	91,314
研修費	122,250	0	0	122,250	0	122,250
支払手数料	15,125	0	1,485	16,610	330	16,940
雑費	27,736	11,000	0	38,736	27,636	66,372
その他経費計	8,642,949	12,870	120,907	8,776,726	189,540	8,966,266
経常費用計	14,162,831	12,870	120,907	14,296,608	189,540	14,486,148
当期経常増減額	△ 985,601	△ 12,870	△ 106,907	△ 1,105,378	4,390,457	3,285,079

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 拠
事業用物件の家賃一部無償化	1,980,000	事業用物件の家賃385,000円(35万円+消費税)を一部無償化により220,000円で使用

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 拠
自立支援シェアハウス調理ボランティア	403,932	最低賃金821円×平日246日×2時間
居場所スペースボランティア	394,080	最低賃金821円×週1・5時間×月4回×12ヶ月
KIMONOプロジェクトボランティア	180,000	前撮り一人3万×6名

法人名: NPO法人トナリビト

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,178,001		
流動資産合計		7,178,001	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			7,178,001
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,892,922	
当期正味財産増減額		3,285,079	
正味財産合計			7,178,001
負債及び正味財産合計			7,178,001

法人名: NPO法人トナリビト

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	137,286		
肥後銀行[10]	4,693,607		
ゆうちょ銀行[事業収入専用]	2,346,108		
PayPay(ゆうちょ)	1,000		
流動資産合計		7,178,001	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			7,178,001
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			7,178,001